

平成 22 年 5 月 26 日

各 位

西日本シティ銀行

消費者動向調査 No.106 「夏のボーナス使いみち調査」

西日本シティ銀行（頭取 久保田勇夫）は、消費者動向調査を定期的実施しております。今般「夏のボーナス使いみち調査」の結果がまとまりましたので、その概要をお知らせいたします。

記

調査結果要約

調査時期：平成 22 年 4 月
調査対象：福岡県内のボーナスがある家庭の主婦 500 人
（うち回答者 494 人、回答率 98.8%）

- ◆ **今年の夏のボーナス支給予想、昨年夏と比較して「多くなる」は 2.4 ポイント増加。「少なくなる」が 8.8 ポイント減少。**

昨年夏よりも、ボーナスが「多くなる」と予想する割合が 2 年ぶりに増加に転じた。
（調査結果本文 2P）

- ◆ **夏のボーナスの使いみち予定、1 位は「貯蓄」で 55.3%。2 位は「旅行・レジャー」で 36.8%。**

夏のボーナスの支出予定 1 位は「貯蓄」で、昨年の夏に比べ 7.3 ポイント増加。
（調査結果本文 3P）

- ◆ **ボーナスを貯蓄する目的、1 位は「将来の生活費補てんのため」で 44.9%。2 位は「将来の教育費のため」で 34.2%。**

貯蓄の目的は依然として、“将来の不測の事態に備えた生活防衛”などの意識が高いと思われるが、「その他」が 6.0 ポイント増加し、目的に分散化がみられるようだ。（調査結果本文 4P）

- ◆ **ボーナスを貯蓄する場合の考えは、「収益性も考えるが、安全性をより重視したい」が 48.4%で 1 位。**

「元本の安全性を重視したい」が昨年の冬に比べ 2.8 ポイント減少、1 年前から約 10 ポイント減少の 43.1%で 2 位に順位を下げた。1 位は「収益性も考えるが、安全性をより重視したい」が、8.0 ポイント増加。収益性を考える動きが少し出てきているようだ。（調査結果本文 5P）

- ◆ **関心がある金融商品の 1 位は「預貯金」で 59.1%。2 位は「保険・共済」で 28.9%。3 位は「投信」で昨年冬の 4 位から順位をひとつ上げ 19.2%。**

貯蓄から投資への流れが進展するなか、「投資信託」などでの運用に興味に戻ってきているようだ。

（調査結果本文 6P）

- ◆ **夏のボーナス、自由に使える金額は、昨年に比べ夫は 7 千円、妻も 8 千円アップ。**

ボーナスが「多くなる」と予想する割合が増加したのを受け、自由に使える金額も増加するようだ。

（調査結果本文 7P）

[調査結果本文はこちら](#)

以 上

この調査に関するお問い合わせは
西日本シティ銀行 広報文化部 堺・大岡まで
TEL 092-461-1869